

千里寺略史のご紹介

今年は千里寺が千里山仏教会館として活動を初めて以来80年、そして本堂建立から50年にあたります。これを機に初めての寺史を作ろうということになり、多くの方々が尽力されて立派な冊子が出来上がりました。内容のごく一部を簡単に紹介致します。

10月6日の総会会場で現物を展示してご覧頂けるようにしたいと考えております。

北大阪電鉄が豊津から延長されて千里山駅が開業したのは大正10年10月26日で千里山住宅地の開発は進んでいましたが、まだ入居者は殆どいませんでした。これに遅れること8年、水源地の麓に昭和4年6月千里山初の仏教施設として本山の命を受けた武田達誓師により浄土真宗本願寺派の千里山仏教会館が開設されました。開設法要にはすでに全国的に有名な布教師であった達誓師の名を慕って全国から参拝者が訪れ、もの凄い人出だったそうです。仏教会館から千里寺に名前が変わったのは戦後の昭和21年3月で、初代住職に達誓師の次男覚誓師が着かれました。

千里山駅前の小高い松山に千里寺の造築工事始まったのは昭和26年のことです。昭和大礼に使われた建物を関西大学が武道館「威徳館」として使用していたものを移築することとなり、昭和32年4月「本堂落成法要」が

盛大に行われました。その後鐘楼、納骨堂、山門が完成し現在の立派な伽藍が出来上がりました。平成4年11月には覚誓師の二子息達城師が2代目住職を継承され今日に至っております。

私も戦後仏教会館でお花まつりに参加したり、短期間ですが村上三島先生の書道教室に通った思い出があります。父が亡くなつてから千里寺にご縁ができましたが、祖母や母から達誓師は本山の偉いお役を務めて居られてとてもお忙しいお方と聞きました。毎月のお参りは覚誓師にお願ひしておりました。千里山駅前に本堂ができて、盆踊りの会場が美和遊園から千里寺境内に移った頃のことを良く覚えております。(奥田記)

千里山開教八十年
本堂建立五十年 記念

如是山 千里寺略史

